

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
23年 第12号	23.12.2	<p>「父母の教育費負担を軽減し、子どもたちにゆきとどいた教育を求める私学助成」に関する請願</p> <p>【請願趣旨】 現在、高校生の3割が私立高校で学んでおり、幼児教育、大学教育はその8割を私学が担うなど、私学は公教育の場として大きな役割を果たしている。しかし、私学に学ぶ生徒と保護者は従来から学費の大きな公私間格差に悩まされ、高い学費負担に苦しんできた。</p> <p>2010年度から国公立高校の無償化とともに私学への就学支援金が実施され、保護者の負担が軽減したものの、無償化された国公立高校に比べて、私立高校では支援金を引いても初年度納付金で67万円、入学金を除いて48万円の学費負担が残り、今なお私学の生徒と保護者は高い学費、公私間格差を強いられている。また、無償化された国公立高校との関係で私立高校は過大な生徒募集競争を余儀なくされ、私学教育本来の良さを損ないかねない状況に置かれている。</p> <p>県内の私立幼稚園は公立に比べ5.3倍の父母負担がある。</p> <p>私学は、独自の伝統、教育システムにもとづいて教育を提供し、教育改革に積極的な役割を果たしている。</p> <p>国公立高校無償化にみあう水準で生徒・保護者の深刻な学費負担を軽くし、私学教育の本来の良さを一層発揮していくためには、私立高校への就学支援金の拡充と、教育条件の維持・向上をはかるための経常費助成の拡充が必要である。</p> <p>以上の立場から以下の事項について署名62,337筆を添えて請願する。</p> <p>【請願項目】 1 授業料軽減予算を拡充すること。 2 私学への経常費助成を拡充すること。</p>	個人	大内久美子	総務企画	不採択

		3 教育予算を拡充すること。				
--	--	----------------	--	--	--	--